

2024年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月21日

上場会社名 株式会社大光

上場取引所 東

 コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777

四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 2024年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第2四半期の連結業績(2023年6月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第2四半期	33,690	9.3	574	249.9	605	215.3	378	298.8
2023年5月期第2四半期	30,825	17.7	164		191		94	

(注) 包括利益 2024年5月期第2四半期 449百万円 (377.0%) 2023年5月期第2四半期 94百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第2四半期	25.76	
2023年5月期第2四半期	7.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年5月期第2四半期	21,965	5,775	26.3	393.31
2023年5月期	20,499	5,406	26.4	368.20

(参考) 自己資本 2024年5月期第2四半期 5,775百万円 2023年5月期 5,406百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期		4.50		5.50	10.00
2024年5月期		5.50			
2024年5月期(予想)				5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,300	8.4	1,350	77.1	1,400	70.7	900	112.1	61.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期2Q	14,883,300 株	2023年5月期	14,883,300 株
期末自己株式数	2024年5月期2Q	200,012 株	2023年5月期	200,012 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期2Q	14,683,288 株	2023年5月期2Q	13,250,788 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安傾向の継続やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・原材料価格の高騰、物価上昇による消費マインドの低下が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、仕入価格や物流費等の上昇が継続しているものの、インバウンド需要の回復や、飲食店や観光地への人流増加、企業活動の活発化などを背景に、客足は回復基調が継続しております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は336億90百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は5億74百万円（前年同期比249.9%増）、経常利益は6億5百万円（前年同期比215.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億78百万円（前年同期比298.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に伴い当事業を取り巻く経営環境は改善が進み、急増する顧客ニーズに対応した商品提案に注力するとともに、既存得意先との深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は216億6百万円（前年同期比13.7%増）、営業利益は2億18百万円（前年同期は営業損失76百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に対応し外食事業者向けの品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。

新規出店については、2023年6月に富士店（静岡県富士市）、同年10月には冷凍スイーツに特化した新業態店舗であるR e i c a 岐阜田神店（岐阜県岐阜市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は113億78百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は8億87百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として51店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、2023年8月に中国による日本産水産物の全面輸入停止が発表され、当事業においても中国向けの輸出版売を停止したことから、売上高は減少しました。

この結果、水産品事業の売上高は7億71百万円（前年同期比51.1%減）、営業損失は25百万円（前年同期は営業利益59百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が1億40百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が3億88百万円減少したこと等により、流動資産は全体で1億43百万円減少しました。また、固定資産は、新本社兼物流センター取得の設備投資等により有形固定資産が14億92百万円増加したこと等により、全体で16億8百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して14億65百万円増加し、219億65百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して短期借入金が6億円減少したものの、支払手形及び買掛金が8億60百万円増加したこと等により、流動負債が全体で1億16百万円増加しました。一方固定負債は、長期借入金が9億76百万円増加したこと等により、全体で9億80百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して10億96百万円増加し、161億90百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が2億97百万円増加したこと等により、3億68百万円増加し、57億75百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは17億48百万円の収入（前年同期は10億93百万円の収入）となりました。これは、棚卸資産の増加2億45百万円があったものの、売上債権の減少3億88百万円、仕入債務の増加8億60百万円、税金等調整前四半期純利益6億5百万円の計上等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは18億51百万円の支出（前年同期は2億43百万円の支出）となりました。これは、投資有価証券の償還による収入1億70百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出17億84百万円、投資有価証券の取得による支出1億5百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2億43百万円の収入（前年同期は5億96百万円の支出）となりました。これは、短期借入金の減少6億円、長期借入金の返済による支出5億50百万円があったものの、長期借入れによる収入15億円等によるものであります。

これらに換算差額を合わせた結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ1億40百万円増加し、7億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2023年9月25日に公表しました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	629,735	770,498
受取手形及び売掛金	5,984,107	5,595,407
有価証券	121,881	100,090
商品	4,612,669	4,894,088
貯蔵品	80,278	44,449
その他	1,134,621	1,016,551
貸倒引当金	△4,558	△5,405
流動資産合計	12,558,736	12,415,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,213,174	3,172,886
その他（純額）	1,807,987	3,340,781
有形固定資産合計	5,021,162	6,513,667
無形固定資産	23,436	26,658
投資その他の資産		
投資有価証券	1,055,607	1,114,064
その他	1,849,007	1,903,346
貸倒引当金	△8,221	△8,175
投資その他の資産合計	2,896,393	3,009,234
固定資産合計	7,940,991	9,549,561
資産合計	20,499,727	21,965,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,665,257	7,525,622
短期借入金	1,894,000	1,294,000
1年内返済予定の長期借入金	1,136,124	1,109,124
未払法人税等	240,194	265,555
賞与引当金	243,837	248,600
その他	1,285,448	1,138,495
流動負債合計	11,464,861	11,581,398
固定負債		
長期借入金	1,897,214	2,874,092
役員退職慰労引当金	306,983	316,117
退職給付に係る負債	423,734	434,068
資産除去債務	514,809	519,091
その他	485,744	465,404
固定負債合計	3,628,486	4,608,773
負債合計	15,093,347	16,190,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,482,063	1,482,063
資本剰余金	1,385,862	1,385,862
利益剰余金	2,472,294	2,769,821
自己株式	△33,904	△33,904
株主資本合計	5,306,316	5,603,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,840	156,209
繰延ヘッジ損益	408	△81
退職給付に係る調整累計額	16,814	15,096
その他の包括利益累計額合計	100,063	171,224
純資産合計	5,406,380	5,775,068
負債純資産合計	20,499,727	21,965,239

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
売上高	30,825,398	33,690,162
売上原価	24,904,586	26,974,174
売上総利益	5,920,812	6,715,987
販売費及び一般管理費	5,756,521	6,141,086
営業利益	164,291	574,901
営業外収益		
受取利息	6,114	5,810
受取配当金	4,024	4,632
受取賃貸料	46,573	47,904
受取手数料	10,942	11,290
受取保険金	—	14,176
助成金収入	495	—
その他	11,062	15,368
営業外収益合計	79,212	99,183
営業外費用		
支払利息	10,145	11,622
賃貸費用	34,547	34,548
固定資産除売却損	751	3,019
その他	6,149	19,795
営業外費用合計	51,594	68,985
経常利益	191,909	605,099
特別損失		
損害賠償金	35,000	—
特別損失合計	35,000	—
税金等調整前四半期純利益	156,909	605,099
法人税、住民税及び事業税	56,114	223,713
法人税等調整額	5,940	3,101
法人税等合計	62,055	226,814
四半期純利益	94,854	378,285
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,854	378,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	94,854	378,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,646	73,368
繰延ヘッジ損益	7,571	△490
退職給付に係る調整額	△1,548	△1,717
その他の包括利益合計	△624	71,160
四半期包括利益	94,229	449,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,229	449,445

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,909	605,099
減価償却費	225,839	238,765
損害賠償金	35,000	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	310	801
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,596	4,763
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,221	9,133
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,139	7,882
受取利息及び受取配当金	△10,138	△10,443
助成金収入	△495	—
支払利息	10,145	11,622
固定資産除売却損益 (△は益)	751	3,019
売上債権の増減額 (△は増加)	△286,511	388,700
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△112,374	△245,589
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,119,039	860,365
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△37,675	△17,439
その他	80,672	90,719
小計	1,179,793	1,947,400
利息及び配当金の受取額	6,819	7,311
利息の支払額	△6,764	△7,658
法人税等の支払額	△86,567	△198,554
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,093,280	1,748,499
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△161,994	△1,784,092
無形固定資産の取得による支出	△2,210	△11,630
投資有価証券の取得による支出	△104,310	△105,394
投資有価証券の償還による収入	—	170,817
建設協力金の支払による支出	—	△66,092
敷金及び保証金の差入による支出	—	△53,620
その他	24,525	△1,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△243,989	△1,851,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60,500	△600,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△450,120	△550,122
配当金の支払額	△59,524	△80,480
リース債務の返済による支出	△26,427	△25,922
財務活動によるキャッシュ・フロー	△596,572	243,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	252,734	140,762
現金及び現金同等物の期首残高	282,763	629,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	535,497	770,498

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当社グループの借入金のうち、シンジケートローン（当第2四半期連結会計期間末残高1,500,000千円）には、以下の財務制限条項が付されております。

1. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を2023年5月決算期末日における連結及び単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%の金額以上に維持すること。
2. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の損益計算書に示される経常損益がいずれも2期連続して損失とならないようにすること。

なお、当第2四半期連結会計期間末において上記財務制限条項には抵触しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	19,000,346	10,305,443	1,511,179	30,816,969	8,428	—	30,825,398
セグメント間の内部売上高又は振替高	506	9,519	65,407	75,433	—	△75,433	—
計	19,000,852	10,314,963	1,576,587	30,892,403	8,428	△75,433	30,825,398
セグメント利益又は損失(△)	△76,729	662,406	59,996	645,672	4,106	△485,487	164,291

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△485,487千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年6月1日 至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	21,606,616	11,362,353	712,790	33,681,760	8,402	—	33,690,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	16,294	58,245	74,719	—	△74,719	—
計	21,606,796	11,378,647	771,035	33,756,479	8,402	△74,719	33,690,162
セグメント利益又は損失(△)	218,217	887,105	△25,216	1,080,106	4,526	△509,731	574,901

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△509,731千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。